

認定心理士の会から

創立1周年までの歩みとこれから

2016年5月に東京、9月に大阪と続き、12月には宮城県仙台市において、「心理学を被災地に活かそう！」と題したシンポジウムを開催しました。日本心理学会による東日本大震災からの復興のための実践活動及び研究の助成を受けた研究グループの先生方から、地域活動やその成果が紹介されました。会員のほかに、一般市民も含めて、多くの方々にご参会いただきました。それは開催地が東日本大震災の被災地のひとつであることから、被災地支援というテーマへの関心の高さが表れているからだと思いますが、基調講演をはじめ2部構成のシンポジウムの諸先生方が語る内容には、地域性を超えて意義深いものがありました。詳細は本会のニューズレターをご参照ください。

また昨年11月に福岡と札幌において、日本心理学会公開シンポジウムに繋げて、会の懇親

会を開催しました。今後の会活動に対して、発達・精神障害やパワーハラスメント、コミュニケーション能力や傾聴のスキル、ターミナルケアや認知症患者とのかかわり方といった勉強会やワークショップなど、示唆に富んだ意見が挙がるとともに、会員間の有機的な繋がりが持たれました。

本稿執筆時点における2017年度の新たな活動企画を報告します。5月に広島、9月に横須賀と久留米（日本心理学会第81回大会）、12月に名古屋と、シンポジウムや講演会を開催します。大阪でのイベントや他地域による懇親会も予定しています。さらには、地方支部会を立ち上げ、会員の主体的活動の具現化や、親睦や交流を図るために定例会も計画しています。その他、オンラインでの交流会も検討中です。2017年4月で創立1周年を迎える会活動にこれからもご期待ください。

（認定心理士の会幹事 中村由美）

若手の会から

第81回大会における「若手の会」活動案内

新しい年度を迎え、学会参加の予定を考え始める季節かと思います。昨年度は国際心理学会のため変則的となりましたが、次回大会では、また気持ちを新たに若手の会からの企画を打ち出していきます！

学部生の大会参加費が無料になります

若手の会の大きな役割として、大学院生・学部生の積極的な学会への参加を促し、次世代の心理学を担ってもらうというミッションがあります。ただ多くの学部生にとって、年次大会は未知の場所ではないでしょうか？ そんな大会参加へのハードルを下げるために、今年度からは学部生の参加費が無料になります。学部生の皆さんには是非、大会の雰囲気や楽しさを味わってもらえればと思いますし、若手の会もそのお手伝いをします。学生証を忘れずにお持ちください。

若手のワンショット発表会と親睦会（9月20日）

発表を控えた若手に、1～2分程度で自身の

ポスターやセッションを宣伝する機会を提供します。大会初日に開催するので、お客さんにアピールするチャンスです。また学部生にもプレゼンの機会を設ける予定です。親睦会も予定していますので、初日のアイスブレイキングを兼ねてお気軽に参加ください。

若手の会企画シンポジウム（9月21日）

例年通り若手の会主催の企画シンポジウムを開催します。今回のテーマは、若手のキャリアパス構築、特に大学院選択に関するものです。学部生にとって大学院進学はひとつの大きな選択かもしれませんが、どのように自分にあった研究室を選べば良いかを先輩方にお話ししてもらいます。その後、若手の会メンバーによる個別相談会も予定しています。

時間や場所については、今後ホームページや若手の会メーリングリストで案内する予定です。身近の学部生も誘って、皆さんのご参加をお待ちしています！

（若手の会代表幹事 小川健二・鈴木華子）